

項番	答申意見案	対応状況
1	<p>○富士山等の山岳観光資源やブドウ等の農産物資源など、山梨の資源を最大限に活かす政策を推進することが肝要である。</p> <p>○山梨県は県土面積が小さいため、各地の資源を様々なネットワークで結ぶことが必要であり、県と市町村と民間が連携して強力に推し進めることが最も必要と考える。</p> <p>○移住者が溶け込めるような地域のコミュニティをつくる必要がある。地元の方と移住者がコミュニケーションが取れるような施策を市町村等と連携して取り組む必要がある。</p> <p>○県外へ転出した若者を呼び戻すためには、優秀な人間を育て、魅力ある仕事を創出することが必要である。</p> <p>○出生については、長期的な取り組みが必要であり、特に若い女性にとって出産・子育てがしやすい環境整備などの取り組みが必要である。</p>	<p>○戦略1において「本県の優れた地域資源の活用により、県内経済を潤していく好循環を作っていく」旨を記載。</p> <p>○計画の推進において、多様な主体とのパートナーシップについて整理。</p> <p>○戦略5政策3に施策「移住者等のコミュニティ定着に向けた支援」を記載。</p> <p>○戦略1において魅力的な仕事を増やすこと、戦略2においてきめ細かくで質の高い教育環境の実現について記載。</p> <p>○人口の将来展望において、若年女性に着目して人口動態の考え方を整理。</p>
2	<p>○今回の計画は、地域の豊かさ人とどう生きるかという人間力の向上に尽きるのではないか。</p> <p>○生活に直結する整備や開発事業も大切だが、山梨が誇る自然環境を守り、後世に繋ぐことも重要である。</p> <p>○地域の声を拾い、地域に寄り添い、安全で安心な地域社会を作る「山梨の明日を切り開く」計画づくりを進めてほしい。</p> <p>○SNSを始めとする情報社会により、人と人との繋がりの減少、地域で支えあう意識の減少により、希薄な社会・世の中となり重大犯罪が増加しているのではないか。</p>	<p>○基本理念で「豊かさの実感」に向けてという項目で考え方を整理。</p> <p>○戦略4政策3に「健全で恵み豊かな自然環境の保全を図る」旨を記載。</p> <p>○基本理念において目指すべき本県の姿を示すとともに、5つの戦略で進めていく旨を記載。</p> <p>○戦略5政策3に施策「安全・安心なまちづくりの推進」を記載。</p>
3	<p>○移住者やアパートひとり暮らしなどは地域コミュニティが乏しく、災害時の避難場所も分かっていない。そういう世代や移住者へのコミュニティ・災害時の対応も検討が必要かと思う。</p> <p>○山梨は車社会のため、渋滞する問題、高齢化に伴う免許返納など交通手段の充実が必要である。バス鉄道などの公共機関の充実と利便性が要望として高い。</p>	<p>○戦略5政策3に施策「移住者等のコミュニティ定着に向けた支援」を記載。</p> <p>○戦略5政策1に施策「県内各地域をつなぐ道路ネットワーク整備の推進」「地域公共交通等の確保」を記載。</p>

項番	答申意見案	対応状況
4	<p>○コミュニティバスの運行制度の確立は、県が具体的運行策などをまとめ、それをモデルとして県内全市町村が原則としてこれを採用することを提言する。</p> <p>○山梨は、首都圏をどうやって巻き込むかというぐらいの大きな構想を一つひとつ具現化して欲しい。</p> <p>○県への移住者を増やすため、北海道から九州まで山梨県人会の組織を巻き込むなど、県外移住者でつくるコミュニティを設置し、吸い上げた意見を参考したらどうか。</p> <p>○地域のリーダーを担っている人々を、今以上に伸びる集団にしなが、地域のまちおこしの役目を努めていただくという考え方も必要である。</p> <p>○市町村との連携を強化するとともに、県民参加と自己責任認識の普及も図ることにより、政策が効率よく実現するのではないか。</p>	<p>○戦略5政策1の施策「地域公共交通等の確保」に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略1などに関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略3政策3の関係人口の創出等に係る今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略5政策3に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○各政策において関係者の役割分担等を記載。</p>
5	<p>○美しい県土づくりの政策を、山梨の強み（田舎の魅力）を延ばし、県が市町村や県民と連携してソフト・ハードの両輪で進めること、特に都市計画・まちづくりは、県が主導し市町村と連携することが必要である。</p> <p>○計画期間は4年であっても、2040年～2030年の将来を見据えて、今から地道に取り組むべきことをスタートしてほしい。</p> <p>○ソフト面におけるコミュニティの維持活性化を図るための施策が必要ではないか。</p>	<p>○戦略5政策3に施策「持続的・発展的な地域の景観活動への支援」を記載。また、今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○2040年の将来像を目指し、各施策について、2030年を見据えたR1年度からの取り組みを記載。</p> <p>○戦略5政策3に施策「移住者等のコミュニティ定着に向けた支援」「多様な主体の交流・連携による地域づくりの推進」を記載。</p>
6	<p>○山梨の自然とか利便性を味わっていただく二地域居住というキーワードも考えてみてはどうか。</p> <p>○地元の若者と都会の若者を巻き込んでやることで移住や地域の活性化に繋がったり、空き家、空き店舗の解消になってくということがある。</p> <p>○何でも開発ということではなく、自然をいかに守っていくか。できるだけ自然を壊さない、山梨の自然を生かすということも一つである。</p> <p>○富士の国やまなしということで、リニアの駅名も富士山山梨駅とか甲府駅とか甲斐の駅とか富士山何々駅というのがいいのではないか。</p>	<p>○戦略3政策3に「継続的に地域に関わる関係人口の創出」を記載。</p> <p>○戦略5政策3に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略4政策3で「健全で恵み豊かな自然環境の保全を図る」旨を記載。</p> <p>○戦略1政策1の施策「リニア中央新幹線の開業に向けた取り組みの推進」実施の参考意見として活用。</p>

項番	答申意見案	対応状況
7	<p>○快適に安心して地域で生活するには、楽しみながら、地域の歴史、価値、現状等を知り、実際の活動や制度、人をつなげていくことが大事である。</p> <p>○定住移住のシステムは、空き家だけでなく、仕事の紹介、例えば農業なら農家やJA、また地域で活躍しているNPO等に話をつなげることでよりスムーズに移住者が地域コミュニティに入って行けるようになる。</p> <p>○生まれた後、一番怖いのは虐待で亡くなってしまうことなので、そこのフォローも必要である。</p> <p>○35歳とか40歳ぐらいで子どもが欲しいと思っても、体の関係でできないことを中高生から知っておけると、少子化対策ができる。</p>	<p>○戦略5などに関する施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略5政策3に施策「移住者等のコミュニティ定着に向けた支援」を記載。</p> <p>○戦略4政策2に施策「児童虐待防止対策の強化」を記載。</p> <p>○戦略3政策2に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p>
8	<p>○妊娠・出産における職場での理解不足など個人では解決しきれないことへのサポートが不十分である。</p> <p>○空き家等も少子化が一つの原因であり、根本対策を早急に検討して欲しい。</p> <p>○健康寿命が上位である理由の調査・裏付けをして、それが明確になったら、それらをバックアップして欲しい。</p> <p>○男女共同参画の中で快適な生活を求めるなら、男性が育児に関われる働き方改革や、子どもを育てやすい環境づくりをやらなければならない。</p> <p>○魅力ある企業誘致や、子育てに必要な教育・保健・医療・福祉などの生活環境の充実、若者たちにとって「山梨県に住んでみたい」県になるように考えていく必要がある。</p> <p>○東京に行った若者を戻すには、県と市町村、企業が組織的にやらないと困難な状況にある。</p> <p>○教育の力によって山梨の文化を向上させる必要がある。</p> <p>○田舎へ行くほど年寄りばかりであり、これで山梨の活性化、快適生活というのはなかなかできないと思う。行政がかなり介入しないとなかなか大変な部分があると思う。</p>	<p>○戦略3に「安心して子どもを産み育てることができるような環境づくりが重要である」旨を記載。</p> <p>○戦略5政策3に施策「空き家対策の推進」を記載。</p> <p>○戦略4政策1に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略3政策1に施策「働き方改革の推進」、政策2として「希望を叶える子育て支援等の充実」を記載。</p> <p>○取り組みの方向性において「魅力的な仕事を増やしていく」「様々な学習の場の提供」「誰もが生きがいを感じる社会づくり」等について記載。</p> <p>○計画の推進に「県単独の力ではできず、多様な主体とのパートナーシップが必要」と記載。</p> <p>○戦略2政策3に「文化芸術やスポーツの振興による可能性の発揮」を整理。</p> <p>○戦略5政策3によりコミュニティづくりを進める他、戦略3政策1により誰もが活躍できる環境づくりを進めることとして記載。</p>

項番	答申意見案	対応状況
9	<p>○山梨でテレワークができる環境を整えることによって山梨での居住者を増やし、必要に応じて東京に出勤するという環境を作ることは十分可能ではないか。</p> <p>○情報提供インフラを整え、移住の決断の後押しができる仕組みがあれば、更に、居住人口を増やすことができるのではないかと思う。</p> <p>○山梨は近くて便利だが、中央道と交通機関のボトルネックが意識的な距離を作っている。心理的な距離を縮めるということを県を挙げてアピールしていくのが大切だ。</p>	<p>○戦略3政策1の施策「働き方改革の推進」において、まず県庁でテレワーク等を推進し、県全体に波及させる旨を記載。</p> <p>○戦略3政策3に施策「若年世代を中心としたUターン促進」を記載。</p> <p>○基本理念において交通環境の改善が発展に大きな役割を果たしたと、リニア中央新幹線の開業等によってさらに改善されることを記載。</p>
11	<p>○子供たちが帰ってきて、あの会社に入りたいという企業がないと、山梨に連れてくるということは非常に難しくなる。</p> <p>○運転免許を返上させてもどこかへ行くときにも困る。交通網を何とかしないと、お年寄りの方にとって非常に不快感を感じるような生活になってしまう。</p> <p>○インバウンドは、今、泊まる場所が少ないので、何とか山梨県に泊まることを考えさせないといけないと思う。</p> <p>○リニア駅の予定地は中心から離れており、結構時間がかかる。そこまでの交通の手段を考えてもらえば、快適になるのではないか。</p>	<p>○取り組みの方向性において「魅力的な仕事を増やしていく」旨を記載。</p> <p>○戦略5政策1に施策「地域公共交通等の確保」を記載。</p> <p>○戦略1政策2の施策「観光産業の生産性向上等の推進」に滞在期間の延長等について記載。</p> <p>○戦略1政策1の施策「リニア中央新幹線の開業に向けた取り組みの推進」</p>
12	<p>○県でも、市町村と連携して通学路への防犯カメラ設置など、ハード面を強化する支援を検討してはどうか。</p> <p>○地域に若者が沢山入ってきて一緒に活動することで住みやすくなる。自分たちが住んでいるところを地域から盛り上げていく必要がある。</p>	<p>○戦略5政策3の施策「安全・安心なまちづくりの推進」実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略5政策3や戦略3政策3に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p>

項番	答申意見案	対応状況
13	<p>○東京圏も関西圏も一つの圏域という中で、山梨が考えられているという時代が来ようとしているだけに、しっかりした長期計画を作っていくべき。</p> <p>○今までの計画づくりは、単年度で目標を盛り過ぎている。4年なら4年という節目を作りながら、大きな目標を見失わないようにしてもらいたい。</p> <p>○まち・ひと・しごと総合戦略と、県の総合計画との関連性が大事である。</p> <p>○地域の豊かさのハードの部分は県が、ソフトの部分は市町村に仕事を預ける。人間の心に書き込むソフト面の地域の豊かさを作ることは、県の仕事ではない。</p> <p>○山梨県は健康寿命が1番という点も計画の中で押さえながら進めることが大事。</p> <p>○長期計画を作ると同時に、いかに県民に浸透させていくか。</p>	<p>○時代の潮流においてスーパーメガリージョンに向けた国等の動きについて整理。</p> <p>○2040年の将来像について整理するとともに、施策ごとに4年間での成果指標を設定。</p> <p>○一体的に策定するとともに、まち・ひと・しごと創生総合戦略としての考え方を整理。</p> <p>○県、市町村、関係団体の役割等について政策ごとに整理。</p> <p>○戦略4において健康寿命の延伸について記載。</p> <p>○目指すべき姿としての豊かさについて整理するとともに、将来の姿についてイメージできるよう記載。</p>
15	<p>○交通ネットワークの充実や、バス等の停留所数の増加、その周辺にコミュニティスペース的機能を持たせることなどが、交通機関の利便性向上と市街地に活気を取り戻す効果を生むのではないか。</p>	<p>○戦略5政策1の施策「地域公共交通等の確保」など実施の参考意見として活用。</p>
16	<p>○リニアの駅の見えるところばかりでなく、交通網の整備も推進して欲しい。</p> <p>○60万人に減る人口を見据えた長期計画を立てることが必要ではないか。</p>	<p>○戦略1政策1の施策「リニア中央新幹線の開業に向けた取り組みの推進」実施の参考意見として活用。</p> <p>○人口の将来展望と対応の方向性について記載。</p>
17	<p>○公共交通ネットワーク拡充への期待が高く、県中心の施策が必要である。</p> <p>○リニア開業効果を全県に波及させるため、新たな御坂トンネル等更なる道路網の早期の充実が必要である。</p> <p>○中部横断自動車道等のインフラ整備などハード面での施策と、それを活用したソフト（上述ネットワーク等）の充実が必要である。</p>	<p>○戦略5政策1施策「地域公共交通等の確保」を記載。</p> <p>○戦略5政策1の施策「県内各地域をつなぐ道路ネットワークの整備」に記載。</p> <p>○取り組みの方向性の戦略5として「ハード・ソフト両面にわたり、産業や生活の基盤づくりを進める」旨を記載。</p>

項番	答申意見案	対応状況
18	<p>○「一人一役県民運動」として、県民全員が相互扶助の誠心を持ち、周囲の人に手を差し伸べるような啓発活動を行い、全てを公助に頼ることなく、自分のできることを無理のない範囲で行うようにすべきである。</p> <p>○空き家対策として、ひとり親家庭や独居老人が互いに支え合えるよう同居を推奨し、助成方法も考える。シェアハウス、グループホームなど組み合わせに幅を持たせるとよい。</p> <p>○子連れの家庭に山梨に根付いてもらうためには、実際に子連れ家庭が来ている場所で移住を促す資料配付などPRすればよい。外から来た方にも優しくできるような県づくりができればいいと思う。</p> <p>○「全県民あいさつリーダー宣言運動」としてあいさつを推奨する。あいさつは道德教育の初めの一步であり、コミュニティの結び付きを強化し、防犯対策となる。</p> <p>○県外に出てしまう人をUターンさせるには、魅力ある企業を山梨に誘致する、またはサテライトオフィスとかそういう形で、なるべくUターンの方向に持っていく必要があると思う。</p>	<p>○戦略4政策2に「支え手、受け手という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が我が事として参画する」旨を記載。</p> <p>○戦略4政策2や戦略5政策3の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略3政策3の施策「移住・交流の促進」に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略2政策1や戦略5政策3の事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○取り組みの方向性に「魅力的な仕事を増やしていく」旨を記載。また、戦略1政策1に施策「企業立地の促進」、戦略2政策2に「Uターン就職の促進」を記載。</p>
19	<p>○基本理念において、県民一人ひとりが豊かさを実感できる山梨を作ろうということを、まずしっかり確認をし、この豊かさとな何かということの踏み込みをしてもらいたい。</p> <p>○経団連では、Society5.0 for SDGsを基本方針として、人間中心の社会を作っていこうとしているが、県においてもこの考え方を取り入れてもらいたい。</p> <p>○中小企業と小規模事業者の再生、地方創生、女性活躍の推進・環境づくりの3つが特に重要である。</p> <p>○地方は働き方改革や安全安心な地域づくりについて責任を持って取り組むべきと考える。</p>	<p>○基本理念の「豊かさの実感」に向けてという項目で考え方を整理。</p> <p>○総合計画にSDGsの考え方を取り入れ、政策との関係を記載。</p> <p>○戦略1政策5に「地域に密着した産業の強化を図る」旨を記載。計画の推進において地方創生の考え方を整理し、戦略3政策1で女性活躍について記載。</p> <p>○戦略3政策1において働き方改革、戦略5政策3において防犯対策等の安全安心な地域づくりについて記載。</p>
20	<p>○山梨県自体では、いろいろな大きなお祭りでコミュニティも作っている。ご近所、おじいちゃん、おばあちゃんが仲良くできるようなコミュニティがあればいい</p> <p>○1枚のペラペラの紙でいいので、地震だという時にパッと目について、それに従って逃げられるリーフレットなどあればいい</p>	<p>○戦略5政策3の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略5政策2の施策・事業実施の参考意見として活用。</p>

項番	答申意見案	対応状況
21	<p>○目指すべき本県の姿が「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」だけでは、抽象的すぎる。</p> <p>○施策実施の結果、人口減少に歯止めがかかるとか、県民所得が上昇に転ずるとか、他県にないユニークな指標で県民が豊かさを実感できることがわかる記述が必要。</p> <p>○施策に優先度を付け、野心的、挑戦的な内容で豊かさを実現できる山梨を目指してほしい。</p> <p>○昨年12月に水道法が改正され、市町村経営の水道事業について県が中心となって指導的役割を果たすようになったが、この点について本計画にも盛り込むべき。</p> <p>○若年世代の県内定着を増やすためには、雇用の受け皿を増やす産業政策が必要であり、製造業では省力化が進むこともあり、特に第3次産業が重要である。</p>	<p>○基本理念で「豊かさの実感」に向けてという項目で考え方を整理。</p> <p>○施策実施の結果の県の姿を2040年の山梨県の将来像で整理し、人口については将来展望において考え方を整理。</p> <p>○戦略、政策、施策の体系で整理し、なぜ取り組むのかがわかるようにねらい等を記載。</p> <p>○戦略5に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○取り組みの方向性に「時代に対応した付加価値の高い産業の振興に取り組み、魅力的な仕事を増やしていく」旨を記載。</p>